

8月5日(土)「学校茶道部合同お茶会」に旭志中学校生徒が参加

表千家学校茶道部合同お茶会が、熊本市白川公園お茶室でありました。

県内の小・中・高校、大学の約20校と一般客をあわせた約400人が参加し、児童生徒、学生たちがお茶をたてて他校との交流と茶道文化を深めました。

旭志中学校の2・3年生18人は、薄茶席と立礼席に入り、他校の生徒のたてたお茶をいただき、毎週水曜日に行っている選択家庭科(茶道)の授業の成果を出すことができました。



お茶会に参加した生徒たち

8月6日(日)第19回きくち童謡祭(菊池市文化会館自主文化事業)

きくち童謡祭が文化会館でありました。7月30日(日)にあった予選会には、市内在住の5歳から中学3年生までの子どもたち96組137人が参加し、そのうち35組39人が本選に進みました。

本選に出場した子どもたちは、少し緊張した様子ながらも、マイクを使わない澄んだ歌声で会場内を包み込み、応援に来ていた家族や友だちは、童謡の世界に引き込まれていました。

また、ミニコンサートとして、熊本オペラ芸術協会の皆さんによる、モーツァルト生誕250年記念オペラ「魔笛」のハイライト版が上演されました。来場者からは「初めてオペラを鑑賞し感動した」という声も聞かれました。

童謡祭の上位の結果は次のとおりです。(敬称略)

宮本トミヨ賞 父母麻友(七城小4年) 曲目「ふじ山」

教育長賞 西山紗生(隈府小4年) 曲目「ふるさと」

入賞者 絹笠真子(七城小2年)、古閑愛理(七城小2年)、中田善子(七城小2年)、菊池美希(隈府小3年)、村上結香(菊池小3年)、櫛野宏樹(菊池北小4年)、父母悠太(七城小4年)、迫 顕世(隈府小5年)、西山瑞菜(戸崎小5年)、荒川紗帆(菊池北小6年)、迫 知世(隈府小6年)、内田実花(泗水東小6年)、吉野 舞(泗水東小6年)



宮本トミヨ賞を受賞した父母さん

8月5日(土)九州柳河精機(株)が刈払い機と芝刈り機を寄贈

旭志川辺にある九州柳河精機(株)より、同所で創業開始から30周年を迎えた記念として、刈払い機2台と芝刈り機1台が寄贈されました。

刈払い機と芝刈り機は、毎月の庁舎外清掃や除草作業などに活用されます。

寄贈、ありがとうございます。



九州柳河精機(株)の朝吹範之取締役(右)から渡された刈払い機と芝刈り機

8月7日(月)第9回子ども囲碁、将棋大会

子ども囲碁、将棋大会が、旭志多目的研修センターでありました。

今回は、参加者が部活動の試合や練習などの都合で前回(1月実施)より少なく14人(囲碁4人、将棋12人一部重複)でしたが、白熱した試合を展開しました。

試合は囲碁、将棋ともトーナメント方式で行い、更に、普及を兼ねて敗者戦も行なったため、子どもたちは大変喜んでいました。成績は次のとおりです。(敬称略)

囲碁の部

優勝 甲斐誠志郎(旭志小)

準優勝 中川優香(旭志中)

3位 甲斐健志郎(旭志中)

将棋の部

優勝 渡辺一史(泗水中)

準優勝 渡辺大寿(泗水中)

3位 東 優也(旭志小)



大会で練習の成果を発揮する子どもたち

8月27日(日)第26回熊本県消防操法大会「小型ポンプの部」で優勝

熊本県消防操法大会が人吉市の梢山地区多目的グラウンドであり、菊池市から出場した「本部機動隊七城班」が「小型ポンプの部」で優勝、「第1分団」が「ポンプ車の部」で5位入賞を果たしました。

大会には「小型ポンプの部」に26チーム、「ポンプ車の部」に18チームが出場し、各地区の予選会を勝ち抜いた強豪たちが集まった中で行われました。選手たちは、連日の夜間訓練の成果を十分に発揮しました。各チームの選手は次のとおりです。(敬称略)

●本部機動隊七城班

指揮者 増永貴弘

1番員 坂井真人

2番員 本田 昇

3番員 小林政純

補欠員 渡辺昭太

●第1分団

指揮者 立山和寿

1番員 木下路史

2番員 川口嘉一

3番員 赤星信好

4番員 本田雅裕

補欠員 安武則貴



優勝した「本部機動隊七城班」のメンバーたち。前列左が増永選手、前列右が坂井選手、後列右から渡辺選手、小林選手、本田選手。後列左は小池旗手、前列中央は村上団長

9月3日(日)熊本県総合防災訓練

熊本県総合防災訓練が菊池市営中央グラウンドを主会場にあり、自衛隊や消防、警察、病院機関、消防団など48団体、約2,000人が参加しました。

中央グラウンドでは、震度6弱の地震が起きたとの想定で訓練が行われました。正観寺区自主防災会・消防団の避難誘導訓練や菊池高校・菊池女子高校のバケツリレー消火訓練、倒壊家屋からの救出・救助訓練などが本番さながらにありました。

また、国民保護法に基づく県の計画が1月に策定されたことを受けて、化学テロを想定した訓練が今回初めて行われました。総合体育館駐車場で、防護服を着た自衛隊や消防隊員が、テロが発生したと想定したバスの中から負傷者を救出し、自衛隊のヘリで搬送する訓練を行いました。

潮谷義子知事は閉会式で「今日の訓練の成果を思い起こし、広域な連携と個人の役割を心の中に刻んでください」と講評しました。

この総合防災訓練は、熊本県と開催地が主催して毎年行われています。



倒壊家屋に見立てた建物内から負傷者を救出する「菊池広域連合消防本部」の隊員たち



バケツリレーで消火活動をする菊池高校・菊池女子高校の生徒たち



トリアージセンターへ次々と運ばれてくる負傷者に救護活動をする医療関係者たち



サリンとみられる化学物質がまかれたと想定したバスから負傷者を救出する隊員たち



自衛隊のヘリ「チヌーク」に負傷者を搬送する隊員たち